

ホットニュース Hot News

◎花のある暮らし

中央図書館の正面入り口には、月ごとに変わる「渥美半島の鉢花」を飾り、来館者をお迎えしています。その近くにある、生活に役立つ「暮らしの知識」のコーナーには、医療・手芸・料理・育児など生活



に欠かせない情報だけでなく、暮らしを彩る「花」に関する本もあります。ここでは華道やフラワーアレンジメント、花束・ブーケの本を集めています。

田原市は「日本一の花の生産地から、日本一花を贈るまちへ」をコンセプトにさまざまな花にまつわるイベントを実施しています。



▲魅力的な暮らしを彩る花の世界

2月はフラワーバレンタインもありますので、日頃の感謝を込めて大切な人に花を贈ったり、花を飾ったりするのはいかがでしょうか。その際は、ぜひ図書館の「花の本」もご活用ください。



オスナの本



『BANKSY』
バンクシー／作 他 新星出版社
正体不明の覆面画家バンクシー。彼の、反戦、反資本主義などに対するブラックユーモアが込められた解説付き作品集。



『小学生になったら図鑑』
長谷川康男/監修 ポプラ社
小学校ってどんなところ？どんなことをするの？疑問や不安に答える入学準備にピッタリの図鑑です。

History Inquiry Club 其の247
歴史探訪クラブ

文化財課(博物館) ☎22-1720
吉胡貝塚資料館 ☎22-8060
渥美郷土資料館 ☎33-1127

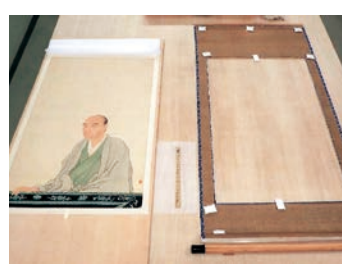



博物館HP 博物館Instagram

ただいま修理中「渡辺華山像」

田原市博物館が所蔵する重要文化財「渡辺華山像」はまもなく修理作業が完了し、博物館に帰ってきます。今回は文化財の修理作業がどのように行われているのかをご紹介します。

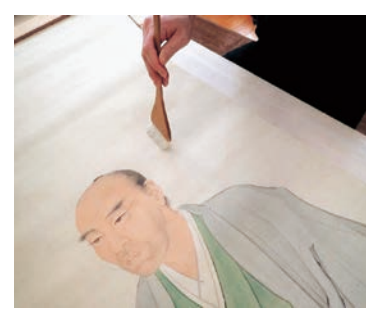
話は一昨年前まで遡ります。特別展「ドナルド・キーンと渡辺華山」での展示を令和5年11月5日に終え、「渡辺華山像」



▲絵と表装(表具)を解体して修理

は、かつて国宝の渡辺華山筆「鷹見泉石像」(東京国立博物館蔵)や重要文化財の椿椿山筆「高野長英像」(高野長英記念館蔵)を修理したことがある東京の修理工房へと運ばれました。国宝や重要文化財は、文化庁の指導監督のもと、確かな技術と知識を持った専門の修理技術者が修理することを推奨されているからです。

修理工房では、修理前の記録、ホコリなどの汚れやゴミの除去、絵具の剥落止め、掛軸に仕立てる表装の新調など、さまざまな工程を経て修理を行っています。特に重要な工程は、本市、愛知県、文化庁、修理工房の4者が集まって会議を開き、本市がその工程の方針を決めています。なおこの修理では、現状維持の状態の後世に伝えることを原則とし、文化財の価値を損なわないよう、色を塗り直す修復作業は行いません。



▲付着したホコリやゴミの除去作業

現在は汚れやゴミが除去され、より鮮明に華山の姿が見られる状態になりました。修理は3月に完了し、田原市へ帰ってくる予定です。お披露目を楽しみにしてください。(学芸員 三宅良宜)